



SEINO HOLDINGS

COMPANY INFORMATION



セイノーホールディングス株式会社 輸送グループ



環境問題や人手不足などの課題に加え、
ドライバーの時間外労働規制への対応にも直面する物流業界において
持続可能な物流ネットワークの最適化は必要不可欠である。

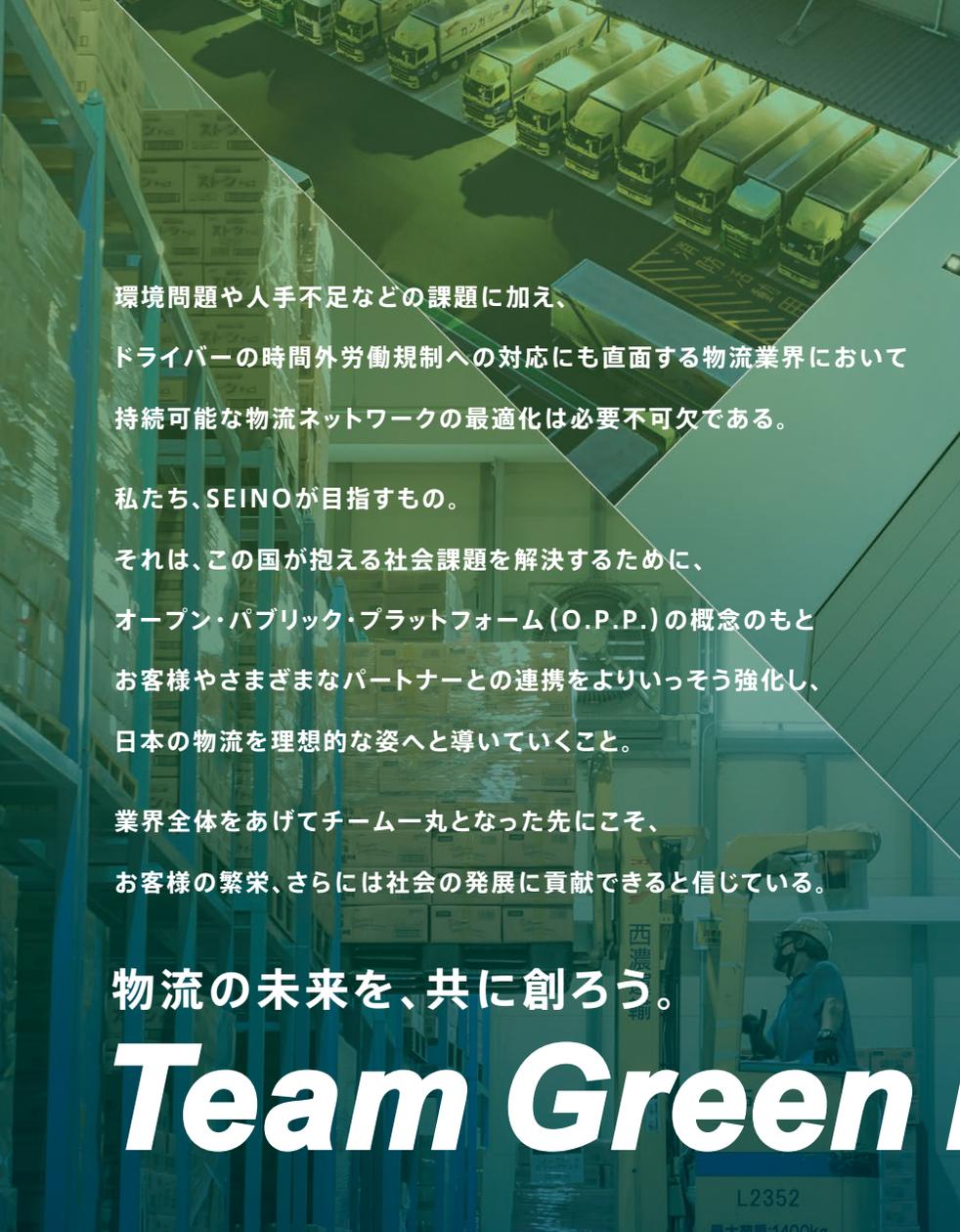
私たち、SEINOが目指すもの。

それは、この国が抱える社会課題を解決するために、
オープン・パブリック・プラットフォーム（O.P.P.）の概念のもと
お客様やさまざまなパートナーとの連携をよりいっそう強化し、
日本の物流を理想的な姿へと導いていくこと。

業界全体をあげてチーム一丸となった先にこそ、
お客様の繁栄、さらには社会の発展に貢献できると信じている。

物流の未来を、共に創ろう。

Team Green Logistics



創業当時から根付く「価値創造」の精神

セイノーは「価値創造」を最大の使命としています。戦後、まだモノが届くことが確実ではなかった時代に、日本初となる長距離路線網を確立。その後もお客様のニーズに応えるべく、輸送から物流へと事業を拡大し、常に新たな価値を創造してきました。それらは全て、「お客様の繁栄のために、+αの豊かさを提供する」という確固たる信念に基づいています。

Green物流の共創で激動の時代を乗り越える

現在に目を向けると、物流業界は多くの課題に直面しています。モノを運べないリスクが顕在化していく時代にあって、社会や環境に配慮する持続可能な「Green物流」の実現はよりいっそう重要になります。

新たに策定した中期ロードマップでは、『Team Green Logistics』というスローガンを掲げました。お客様はもちろん、さまざまなパートナーとの連携を強化し、チーム一丸となって「Green物流」を共に創っていきたく考えています。この実現に必要な不可欠なのが、当社が推進する「オープン・パブリック・プラットフォーム（O.P.P.）」。

業界や企業の枠を超えて、誰もが使用できる物流の仕組みです。業界の構造変化が進む今、O.P.P.を最大限に活用することで、空気を運ばず空気をきれいにする物流エコシステムの実現や、お客様に成り代わり困りごとを解決するOne Stop + No Stressの提供など、新たな価値の創造を目指します。日本の社会課題を解決するために、そして、その先にあるお客様の繁栄のために、物流の未来を共に切り拓いていきましょう。

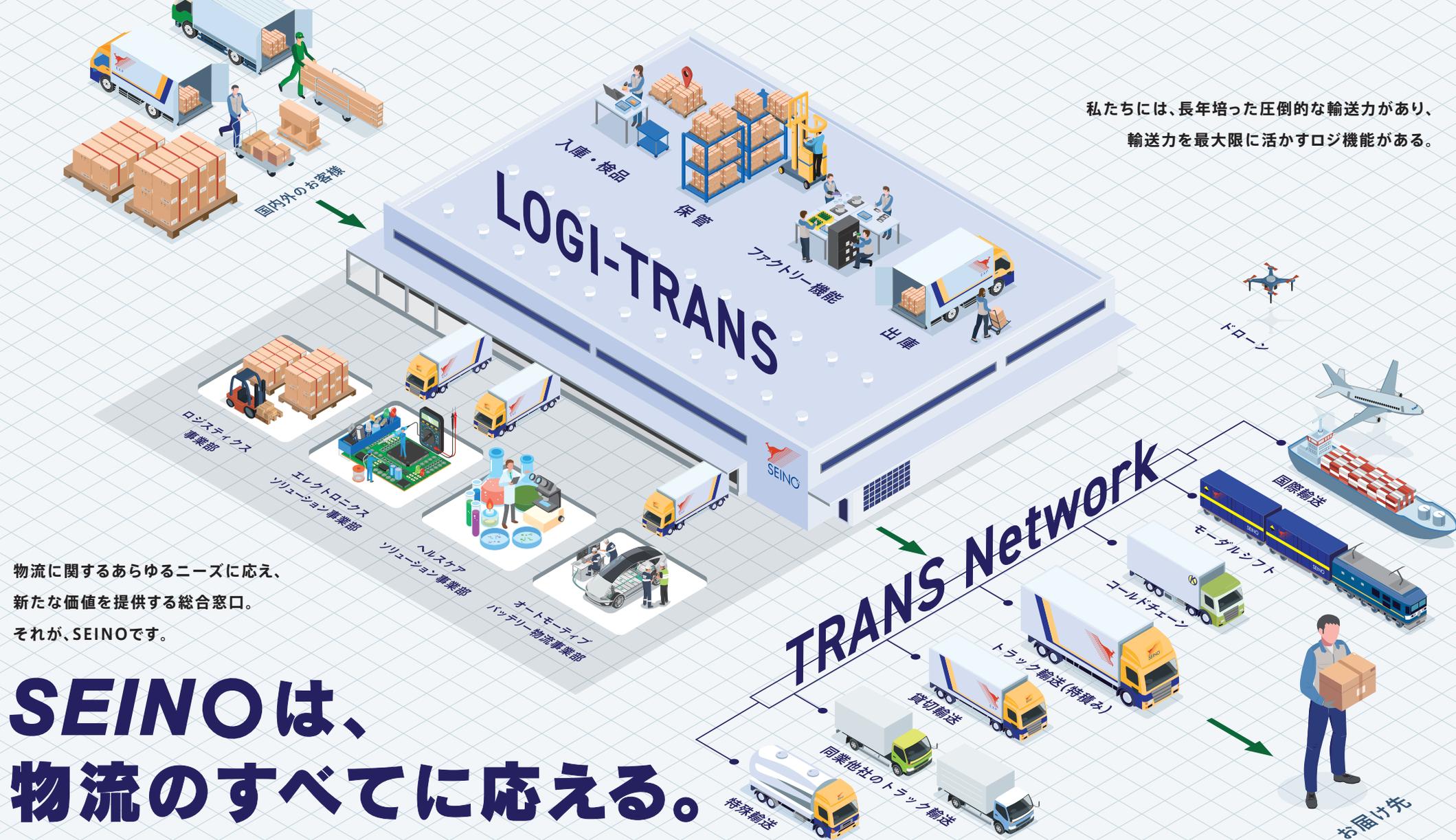
セイノーホールディングス株式会社 代表取締役社長 田口義隆



Team Green Logistics

～共に創り未来に貢献する～

私たちに、長年培った圧倒的な輸送力があり、
輸送力を最大限に活かすロジ機能がある。



物流に関するあらゆるニーズに応え、
新たな価値を提供する総合窓口。
それが、SEINOです。

SEINOは、 物流のすべてに応える。

物流の価値を高める、SEINOのロジ。

業界屈指の輸送力を誇るSEINOが、

お客様のために自らを進化させたコンテンツがロジ機能です。

調達から販売に至るまでの各機能をトータルコーディネートし、

お客様に合わせた最適物流の構築を実現します。

SEINOのロジ・トランス機能の強化

ロジスティクス(物流)機能とトランスポーテーション(輸送)機能を組み合わせ、
調達から倉庫での保管、全国への配送まで、同一施設内でワンストップに提供。

物流窓口の一本化など、お客様の物流に関するあらゆる課題を解決します。

Logistics

ターミナル一体型DC

Transportation

日本全国各地への輸送ネットワーク

NEW CONTENTS!



物流コンシェルジュサービス「見っカル倉庫」

荷物を倉庫に預けたい荷主企業と、空きスペースを貸したい倉庫事業者をつなぐ物流マッチングサービス。西濃運輸の全国物流拠点と輸送網を活用し、最適物流を構築します。

物流ロボット導入で仕分け作業を効率化

龍ヶ崎支店では、倉庫内における仕分けおよび搬送に最適なAGV「t-Sort」を導入。正確な納品先別仕分けや作業者の負担軽減、また作業の標準化を実現した効率的な倉庫現場を構築しています。



全国を網羅する拠点ネットワーク

お客様のマーケット戦略に応えるために、全国に物流拠点を展開。本格的物流センター20ヵ所、保管スペース保有拠点43ヵ所、輸配送拠点158ヵ所(輸送グループ含む423ヵ所)を有効活用したトータル物流サービスを提供します。



物流の価値を高める、SEINOのロジ。

より専門性を高める産業別ソリューション



ロジスティクス事業部

全国に展開するSEINOの物流センター・倉庫を活用し、お客様の「調達」から「販売」までを管理することで「最適物流」を構築。「利益」「キャッシュフロー」の最大化に貢献します。



ヘルスケアソリューション事業部

ヘルスケア産業を物流面で支援し、人々のクオリティオブライフの上昇に貢献するために、GDP対応や医療機器知見などの差別化されたワンストップサービスを提供します。



エレクトロニクスソリューション事業部

「顧客パートナー型ロジスティクスチーム」としてお客様を徹底サポート。非常に広範囲で多岐にわたるエレクトロニクス産業の、さまざまな物流課題をお客様と共に解決します。



オートモーティブバッテリー物流事業部

EVバッテリーの輸送、自社倉庫保管や危険物倉庫の貸借、産業用バッテリーの保管や輸送、リサイクルに伴う回収物流と梱包業務など、危険物に最適な物流サービスを提案します。

SEINOは専門性の高いロジ機能の提案も可能です

バリューチェーン向上に貢献する、ファクトリー機能[一部事例]

精密機器のスクリーニング

携帯電話などのリサイクル再販に伴う、外装チェック、充電テスト、初期化作業を実施します。厳格なセキュリティ管理のもと、トレーニングを行った作業員が作業を行うので安心です。



機械部品の洗浄

店舗などで使用された機械装置を回収し、部品単位に分解した後で各部品の洗浄を行い、在庫します。仕分けされた各部品は、お客様の依頼に合わせて随時出荷を行います。



消臭剤の充填

物流センター内に設置された専用の充填機を使って、消臭剤を小分け用ボトルに充填します。その後、商品ラベル貼付、化粧箱への個装・梱包を行い、全国の営業所へ発送します。



店舗用什器の組立・配送

バックヤードに広いスペースがない家電量販店など向けに、店舗で使用される商品展示用什器を物流センターで組み立て、各店舗の展示場まで直接納品を行います。



物流を支える、SEINOの輸送力。

日本の貨物輸送量の多くを占めるのが、トラック輸送です。

「カンガルーのセイノー」で知られる私たちは、企業間物流の最大手。

強みであるトラック輸送を軸に、幅広いニーズに合わせた

輸送サービスを組み合わせることで、日本の物流を支えています。

NEW CONTENTS!



運送マッチングサービス「**ハコベル**」

運送会社の非稼働時間や個人ドライバーを有効活用することで、高品質の配送サービスを提供する運送プラットフォーム。物流コスト削減に貢献します。

「**見っガル**チャーター」

当日配車、当日配送も可能なカーゴ便、軽トラック便
専門の貸切チャーター手配サービス。Webからのカン
タン見積り、注文で、質の高い配送を提供します。

西濃運輸の拠点を結ぶだけで、そのまま日本列島の地図ができるほど、

全国くまなくカバーするカンガルーネットワーク。

SEINOだけが可能な、高品質なサービスをご提供します。

企業間物流のNo.1

86万社の顧客基盤を活かした輸送力

特積みの顧客基盤に、自社サービスのみならず、
顧客の利便性向上となる他社サービスも提供します。

物流を支える、SEINOの輸送力。

顧客ニーズに応える、幅広い輸送サービス

全国特別積み合わせ輸送

■カンガルー便

小口からロット輸送まで、さまざまな輸送に対応可能。お客様ごとに異なる要望に応えるために、貨物量や配達時間に合わせた豊富な輸送商品を用意しています。

■エクスプレス輸送

国内に160を超える拠点を配置。貨物センターと営業所をハブ・アンド・スポーク方式で結び、トラック輸送では発地より800km圏内の翌日配達を実現しています。



国際輸送

海外からの調達物流は、全国の主要港・地方港や空港を利用してお客様の全国拠点まで配送。輸出においても、スピードとコストを兼ね合わせた海上、航空貨物から最適な輸送商品をご提案します。



コールドチェーン

産地から消費地まで、高品質の冷蔵・冷凍物流を提供。メインの食品物流サービスを軸に、医薬品、精密機器などさまざまな提案を行っています。



貸切輸送

軽トラックから大型車まで、お客様の貨物量に合わせた車両をご用意する完全オーダーメイドの貸切便サービス。集荷から配達まで専属ドライバーが一貫して対応します。

特殊輸送

タンクローリーやトレーラー、ユニック車などの専用車両による貸切輸送を提供。お客様の要望に合わせて、車両のオーダーメイドにも対応します。

航空便輸送

最寄り空港から最終便または翌日初便に荷物を搭載。全国の空港を効率的に利用することで、お客様の「とにかく急ぎ」に応える輸送を提供します。

| TOPIC | 地域課題解決型ラストワンマイル

ラストワンマイルの共同配送、陸送・空送のベストミックス、貨客混載、自動化技術等、業界内外の壁を越えた共創を目指しています。



物流以外の支援サービス

長年、物流で培った知見とロジ・トランス機能を最大限に活用して、経営支援をはじめとした、お客様のニーズに応える幅広いサービスを展開しています。

金融支援



人材支援



経営支援



総務支援



資材調達支援



NEW CONTENTS!

「かるガルフactoring」

急ぎの資金調達、資金繰りの改善といったニーズにお応えする、事業者向け金融サービス。業界最安水準のリーズナブルな利用料金で、お客様が保有する売掛金の早期現金化を実現します。

「カンガルー 売掛保証PLUS⁺」

西濃運輸の「カンガルー便」を使ってご出荷いただいた商品代金について、売掛保証を掛けることができるサービスです。新規開拓や与信判断業務を円滑化し、売上アップに貢献します。

物流から発展した新たな事業

Value Chain Innovation Fund

Spiral Innovation Partnersが共同で組成し、セイノーホールディングスがアンカーLPとして参画する“Logistics Innovation Fund (LIF)”の承継ファンドです。LIFよりも投資領域を拡大することで、物流周辺領域のスタートアップに加え、荷主企業のバリューチェーン全体に価値提供するスタートアップへの投資も行っています。

Logistics Innovation Fund

新たなプラットフォーム、業務プロセス改善、オペレーション領域の拡大など、物流周辺領域のスタートアップ企業への投資を行うファンドです。2020年にはファンドサイズが目標金額の70億円に到達。スタートアップ企業への投資を実行し、運用を開始しています。



SEINOのSUSTAINABILITY

サステナブルな取り組みを推進し、社会や環境に配慮するGreen物流の実現を目指しています。

01 | 環境対応車両の導入

走行中にCO₂を排出しない燃料電池（FC）大型トラックやEVトラックのほか、燃費の良いハイブリッドトラックの導入も進めています。



02 | モーダルシフトの導入

トラック輸送から、長距離かつ大量輸送が可能でCO₂排出量の少ない鉄道や船舶での輸送モードに切り替えるモーダルシフトを積極的に導入しています。



03 | ビジネスセンター（BC）の設置

日本全国の主要都市にビジネスセンターを56ヶ所設置。自転車や台車などを使用した配送を推進することでトラックの稼働を抑制し、CO₂排出量を削減します。



SEINOグループで取り組む課題

マテリアリティ(重要課題)	取り組むテーマ
持続可能な地球環境への貢献	<ul style="list-style-type: none">CO₂排出の少ない事業活動の推進資源使用の少ない事業活動の推進
安心・安全な職場環境づくり	<ul style="list-style-type: none">安全風土の構築に向けた従業員教育安全を守る企業体制づくり
多様な人が活躍する組織づくり	<ul style="list-style-type: none">多様性の尊重と柔軟な働き方の推進従業員への心と身体のケア従業員間のコミュニケーション推進
輸送事業を通じた社会貢献	<ul style="list-style-type: none">BCP対策の推進災害時における行政との連携

マテリアリティ(重要課題)	取り組むテーマ
社会課題解決型事業の推進	<ul style="list-style-type: none">輸送サービスによる社会課題への貢献他社との共創による社会課題への貢献ウクライナ難民の受け入れ
責任ある企業運営	<ul style="list-style-type: none">従業員への教育コンプライアンスを尊重する企業体制づくり公益通報窓口の設置リスク管理マネジメントの実施
持続可能な企業風土の醸成	<ul style="list-style-type: none">従業員の認知度を向上従業員の理解度を向上



戦後、まだモノが届くことが確実ではなかった時代に

日本初となる長距離路線網を構築したSEINO。

「お客様の繁栄に貢献したい」という想いから、
さまざまなニーズに応え、常に新たな価値を提供してきた。

そして現在、さまざまな業種業態のパートナーと繋がり、
共創することで、物流の明るい未来を切り拓いていく。

すべては、お客様の繁栄のために。

そして、持続可能な未来を創るために。

心をつなぐ物流の実現に向けて、

私たちは、これから先も挑み続ける。

物流を超えて、新たな価値を。

SEINOは、心をつなぐ

会社概要

経営理念 会社を発展させ、社員を幸福にする

セイノーホールディングス株式会社

使命 価値創造

我々は「価値創造」を「お客さまの繁栄のために+αの豊かさを提供する」と定義付けて使命としています。

創業 1930(昭和5)年2月11日

設立 1946(昭和21)年11月1日

グループ数 86社

本社 〒503-8501 岐阜県大垣市田口町1

代表者 代表取締役社長 田口 義隆

資本金 42,481百万円

売上高 631,507百万円

発行済株式の総数 207,679,783株

従業員数 29,636人(グループ全体)

事業内容 1.貨物自動車運送事業 5.燃料、紙・紙製品等の販売
2.貨物利用運送事業 6.他の事業に対する投資
3.倉庫業 7.前各号に付帯する一切の事業 他
4.自動車の販売、修理等

西濃運輸株式会社

使命 輸送立国

物流を通じて、お客様に喜んでいただける最高のサービスを常に提供し、国家社会に貢献する。

設立 2005(平成17)年10月1日

本社所在地 〒503-8501 岐阜県大垣市田口町1

代表者 代表取締役社長 高橋 智

資本金 1億円

従業員数 15,948名

車両台数 15,186台

拠点数 188カ所

事業内容 カンガルー特急便を中心とした
商業物流サービス事業 他



社章

自動車と運転者の生命を守るハンドルを
図案化したもので、そのハンドルが創業
者の姓である「田口」という文字を形づ
くっている。中央の"丸"は総てのエネル
ギーである太陽を表している。応募作品
158点中から選ばれたもの。



商標・サービスマーク

お腹の袋にわが子を入れて愛情こまや
かに育て、敏速に飛び回るカンガルー
は、深い慈愛と信頼を表現し、横に走る
16本の強弱のストライプで躍動感とス
ピード感を表している。また、SEINOの
「O」は、太陽(サン)と星(スター)でデザ
インし、昼と夜・24時間活動の「サンス
ター」を表す。すなわち、このマークには
西濃運輸創業以来のサービス精神であ
る「昼夜を分かたず、温かい愛情と力強
い脚力でお客さまの商品をお運びする」
という意味が込められている。

会社概要

輸送グループ企業一覧 2024年4月1日現在

北海道西濃運輸株

東北西濃運輸株

株こぼうん

埼玉西濃運輸株

セイノースーパーエクスプレス株

東京西濃運輸株

神奈川西濃運輸株

伊豆西濃運輸株

遠州西濃運輸株

三河西濃運輸株

西濃運輸株

三重西濃運輸株

丹後西濃運輸株

日ノ丸西濃運輸株

四国西濃運輸株

九州西濃運輸株

熊本西濃運輸株

沖縄西濃運輸株

エコアライアンス株

西濃東京エクスプレス株

西濃名古屋エクスプレス株

西濃通運株

西濃エクスプレス株

西濃大阪エクスプレス株

セイノースティーサービス株

株トーヨー

株勝沼運送

だるま屋運輸株

セントラル物流株

セイノーストワンマイル株

ココネット株

株リビングプロシード

株L O C C O

株地区宅便(※東京本社)

株地区宅便(※千葉本社)

ちくぼす株

日祐株

関東運輸株

株泉川運輸

大阪高速乳配株

丸久運輸株

西濃シェンカー株

セイノロジーックス株

株阪急阪神エクスプレス

セイノーストリート株

株二興倉庫

S & Nロジスティクス株

昭和冷蔵株

朝日梱包株

ケーシーエス株

ハコベル株

UNITED-SEINO TRANSPORTATION(MALAYSIA) SDN. BHD.

Seino Saha Logistics Co., Ltd.

Seino (Thailand) Co., Ltd.

PT. Seino Indomobil Logistics

PT. Seino Indomobil Logistics Services

Seino Super Express USA, Inc.

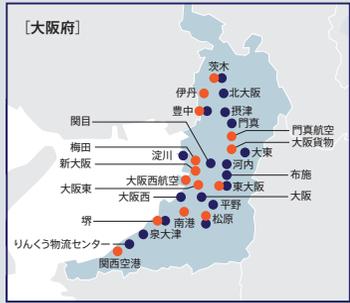
57社

会社概要

セイノーホールディングスの沿革

1930年(昭和 5 年)	田口利八名誉会長が岐阜県益田郡萩原町において田口自動車を創業	1994年(平成 6 年)	田口利夫会長が全日本トラック協会会長に就任
1933年(昭和 8 年)	田口自動車、大垣市に進出移転	1999年(平成11年)	国際航空部門においてISO9002を取得
1941年(昭和16年)	西濃トラック運輸株式会社に発展	2002年(平成14年)	本社においてISO14001を取得
1942年(昭和17年)	戦時陸運統制令により集約合同され戦時輸送に従事	2005年(平成17年)	輸送事業その他の営業を設立会社に承継し、純粋持株会社体制へ移行 (新設会社が「西濃運輸株式会社の商号を引き継ぐ」 セイノーホールディングス株式会社へ商号変更)
1946年(昭和21年)	合同会社より分散、水都産業株式会社を設立	2006年(平成18年)	ヤマトホールディングス株式会社とボックスチャーター事業へ共同出資
1948年(昭和23年)	西濃トラック運輸株式会社に商号変更	2014年(平成26年)	輸送グループの一部を統合、再編 西濃運輸野球部が全国都市対抗野球大会で黒獅子旗(優勝)を獲得
1955年(昭和30年)	西濃運輸株式会社に商号変更	2016年(平成28年)	エコドライブ活動コンクールで国土交通大臣表彰を受賞(西濃運輸)
1960年(昭和35年)	西濃運輸野球部を創部	2018年(平成30年)	フルトレ・セミトレのどちらでも使える日本初の車両を導入(西濃運輸) 専用貨物列車「カンガルーライナー」の運行を開始(西濃運輸)
1966年(昭和41年)	創立20周年を迎え、本社を大垣市田口町1に移転	2019年(平成31年)	世界初のハイブリッドシステムを搭載した大型トラックを導入(西濃運輸)
1967年(昭和42年)	財団法人(現:公益財団法人)田口福寿会を設立	2020年(令和 2 年)	第21回物流環境大賞を受賞(西濃運輸)
1970年(昭和45年)	国際航空貨物の取り扱いを開始	2021年(令和 3 年)	エコドライブ活動コンクールで2度目の国土交通大臣表彰を受賞(西濃運輸)
1971年(昭和46年)	株式名証第二部上場		
1972年(昭和47年)	株式名証第一部、東証第一部に上場		
1981年(昭和56年)	田口利八名誉会長が全日本トラック協会会長に就任 輸送商品名を「カンガルー特急便」「カンガルー宅配便」等に統一 北海道、本州、四国、九州を単独一社で結ぶ業界唯一の全国縦貫路線網を完成		
1983年(昭和58年)	総合物流商社構想を発表		
1983年(昭和58年)	全店オンライン化完成		
1984年(昭和59年)	VAN(付加価値通信網)業務に本格参入		
1990年(平成 2 年)	VI(商標・サービスマークの統合)を導入		

国内輸送ネットワーク



拠点数 **760**カ所



国内輸送ネットワーク

NEW LOGI TRANSFORMER BASE



※完成イメージ

2025年5月竣工予定

西濃運輸 金沢支店金沢倉庫

所在地: 石川県金沢市打木町東2023番

保管倉庫面積: 16,980.60㎡



※完成イメージ

2025年6月竣工予定

西濃運輸 横浜支店

所在地: 神奈川県横浜市都筑区川向町982

保管倉庫面積: 14,188.36㎡



※完成イメージ

2026年7月竣工予定

西濃運輸 市川支店

所在地: 千葉県市川市本行徳2554-17

保管倉庫面積: 40,425.50㎡